

講演

## 「高等学校教育改革を巡る全国の動向」

講師

国立教育政策研究所

教育政策・評価研究部 総括研究官

屋敷 和佳氏

### 講師プロフィール

専門分野：

教育計画、文教施設計画、教育経営

職歴：

昭和56年 国立教育研究所第二研究部

平成13年 国立教育政策研究所教育政策・評価研究部総括研究官

研究課題：

高等学校政策全般の検証に基づく高等学校に関する総合的研究、

教育条件整備に関する総合的研究、

「地域とともにある学校」の推進に向けた教育行政の在り方に関する  
調査研究 など

公的委員：

千葉県県立学校改革推進プラン策定懇談会副委員長、

神奈川県県立高校改革推進検討協議会会長 など

# 高等学校教育改革を巡る全国の動向 について

平成26年6月12日



屋敷和佳  
(国立教育政策研究所 教育政策・評価研究部)

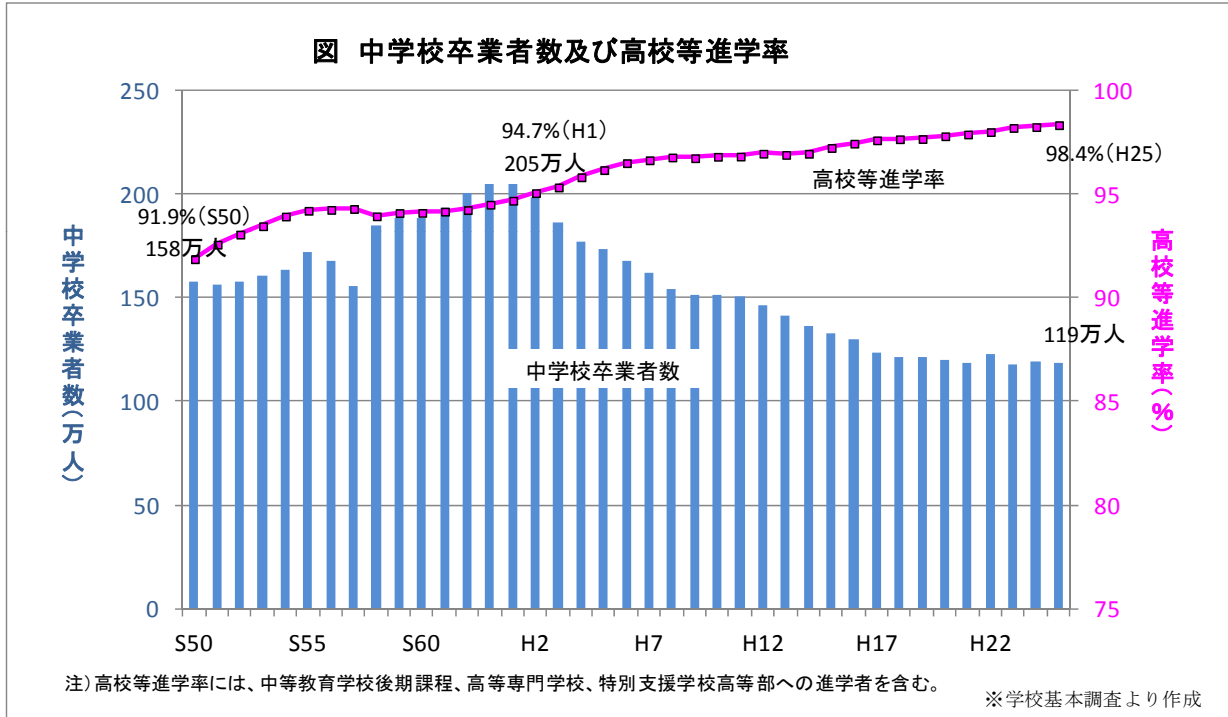
1

## 高等学校教育改革を巡る全国の動向について

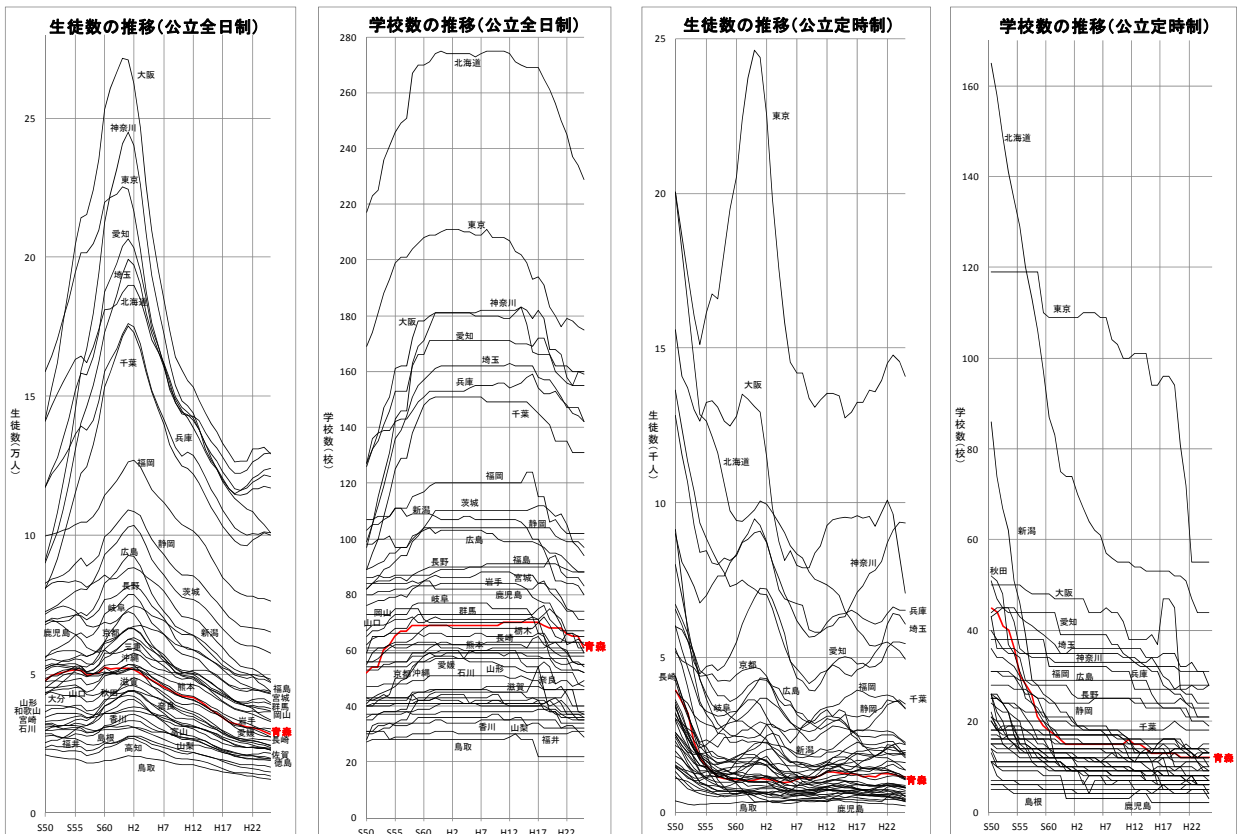
1. 高校教育の動向
2. 高校教育改革の進展
  - (1) 生徒数の変動と高校教育改革
  - (2) 高校教育改革・再編整備の検討と計画
  - (3) 高校教育改革の検証
3. 今後の高校教育政策の課題
4. 小規模校活性化への示唆

※本発表において意見に関わる部分は所属機関の見解ではなく、個人の見解である。

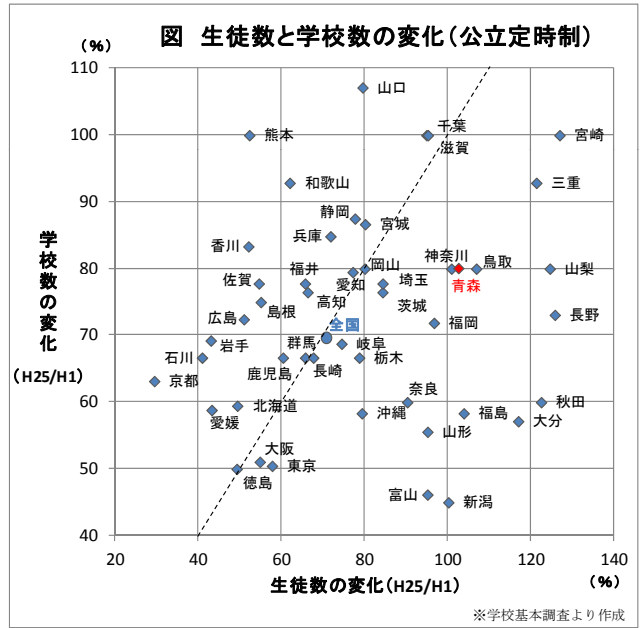
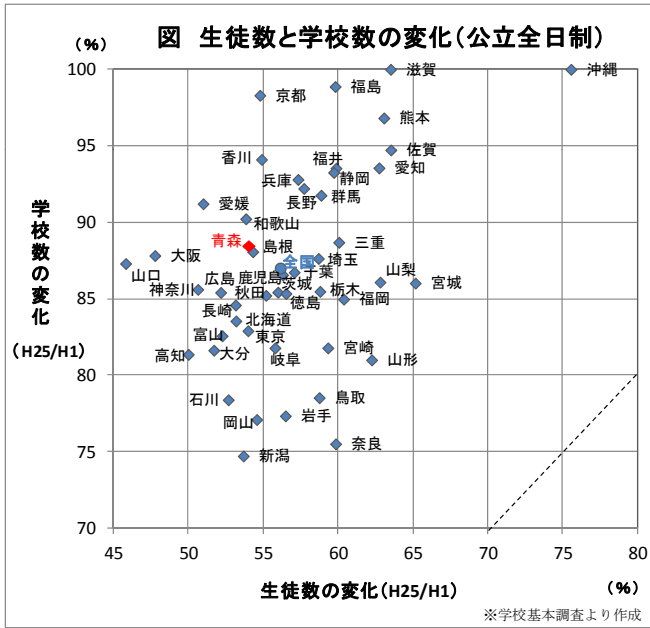
# 1. 高校教育の動向



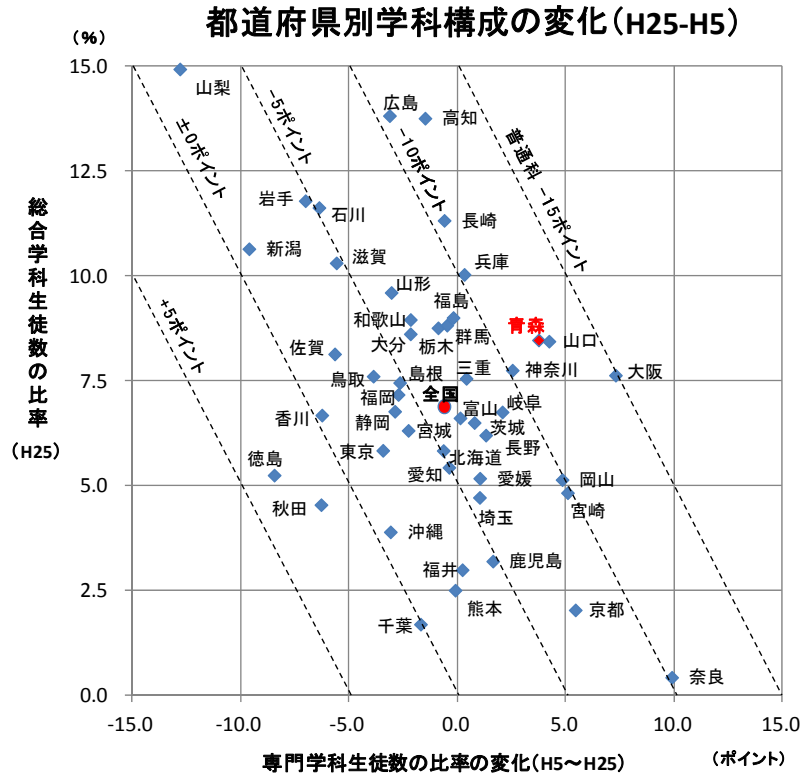
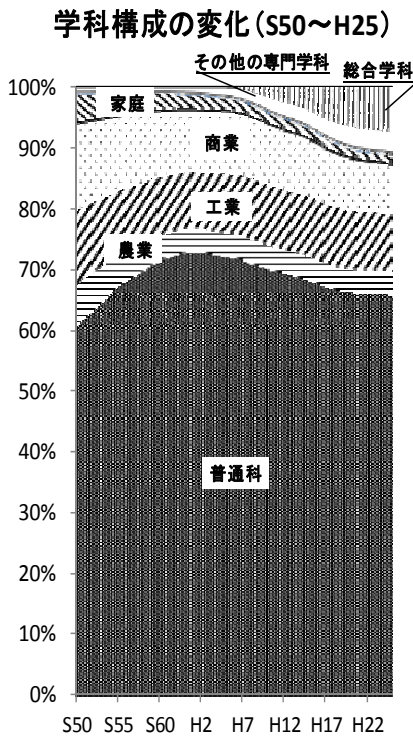
## 生徒数と学校数の推移



# 都道府県別生徒数と学校数の変化



# 生徒数の比率からみた学科構成の変化



## 2. 高校教育改革の進展

### (1) 生徒数の変動と高校教育改革

#### ・ 進学率の上昇と生徒の多様化

高校進学率の上昇(s40代後半:90%超)→多様な生徒の受入れ  
 中央教育審議会(s46ほか)、都道府県教育長協議会(s54)  
 →急増期は単発的な動きにとどまる  
 (伊奈学園総合高校[総合選択制]ほか)

#### ・ 生徒減少と高校教育改革

臨時教育審議会(s62最終)、中央教育審議会(H3)、  
 「高等学校教育の改革の推進に関する会議」(H4、H5)

「個性重視の教育」

<制度改革>



定時制への単位制(s63)、定・通の修業年限3年以上(s63)、  
 全日制への単位制(H5)、総合学科(H6)、中高一貫教育校(H11)

### (2) 高校教育改革・再編整備の検討と計画

基本プロセス



表 高校教育改革・再編整備に関する審議会答申及び計画策定状況 (例示)

<平成25年12月末現在>

2	青森	9.3第3次長期総合教育計画→11.2教育改革推進検討会議→12.10県立高等学校教育改革実施計画-第1次-(素案)→16.10第2次実施計画→19.10高等学校グランドデザイン会議→20.8第3次実施計画→H24.11第3次実施計画(後期)→(青森県立高等学校将来構想検討会議)
3	岩手	3.12第7次教育振興基本計画→8.3同後期実施計画→10.9県立高等学校長期構想検討委員会→12.1県立高等学校新整備計画→16.1同後期マスタープラン→17.1後期計画策定の基本的考え方→17.7県立高等学校新整備計画(後期計画)→18.3新しいタイプの学校に関する検討委員会→21.9第2次県立高等学校長期構想検討委員会→22.3今後の高等学校教育の基本的方向
4	宮城	6.2、7.7魅力ある県立高校づくり推進会議→13.3県立高校将来構想→16.3県立高校の後期の再編について→18.2産業教育審議会→21.9県立高等学校将来構想<同審議会>→22.3新県立高校将来構想・新県立高校将来構想第1次実施計画→23.9県立高等学校将来構想審議会→24.7県立高等学校将来構想審議会(中間とりまとめ)→25.2新県立高校将来構想第2次実施計画
5	秋田	6.1第4次高等学校改善整備計画→11.6「新時代に対応する高等学校教育」構想委員会→12.7第5次高等学校総合整備計画→17.7同後期計画→22.12第6次高等学校総合整備計画→25.4高等学校の再編整備構想検討委員会
6	山形	7.3第4次教育振興計画<同審議会>→11.3第4次教育振興計画(改訂)<教育問題懇談会>→16.3県立高等学校将来構想検討委員会→16.3第5次教育振興計画<同審議会>→17.3県立高校教育改革実施計画→18.1同更新版(以降、年次計画の策定に伴い随時改訂、最終H25.3)→21.6産業教育審議会→25.9県立高校の将来の在り方検討委員会
7	福島	5.6学校教育審議会→9.6県立高等学校改革計画第1次まとめ→11.3第2次まとめ→11.6県立高等学校改革計画→15.3中高一貫教育実施計画→19.5学校教育審議会→23.1~学校教育審議会(中断)
13	東京	9.1都立高校長期構想懇談会→9.9都立高校改革推進計画・第1次実施計画→11.10第2次実施計画→14.9産業教育審議会→14.10都立高校改革推進計画・新たな実施計画→16.11都立高校改革推進計画・新たな実施計画の一部変更→24.2都立高校改革推進計画・第1次実施計画
14	神奈川	10.9県立高校将来構想検討協議会→11.11県立高校改革推進計画・前期実施計画→13.10新校設置基本計画→17.3後期実施計画→21.5産業教育審議会→23.3これからの県立高校のあり方(最終報告)→23.5産業教育審議会→(県立高校将来構想検討協議会)

注) 数字は審議会答申や計画公表の年(平成)月。赤字は平成21年度以降のものを示す。都道府県教委のHP等より作成。

表 都道府県における高校教育改革の推進状況

<平成25年度現在>

	専門学科			総合学科の割合*3	総合学科を除く全日制単位制高校の割合*3	定時制における単位制の割合*4	多部制単位制の設置*1	中高一貫教育校	
	情報科の設置*1	福祉科の設置*1	その他の専門学科の割合*2					連携型の割合*3	併設型・中等教育学校の割合*3
1 北海道		□	○	○	◎	◇	■	○	○
2 青森			◎	○	○	◇	■	○	○
3 岩手			○	○	○	◇	■	○	○
4 宮城			○	○	○	◇	■	○	○
5 秋田	□	□	◎	○	○	◇	■		○
6 山形	□		○	◎	◎	◆	□	○	
7 福島			◎	○	○	◇	■	○	○
8 茨城	□	□	○	○	◎	◇	■	○	○
9 栃木		■	○	◎	◎	◆	□		○
10 群馬	□	□	○	○	○	◇	■	○	○
11 埼玉		□	◎	○	◎	◇	■		○
12 千葉	■	□	◎	○	◎	◆	■	○	○
13 東京	□定	□	○	○	○	◇	■	○	○
14 神奈川		■	○	○	◎	◇	■	○	○
全国計	17	34	47	47	39	47	40	32	38

注) 学校基本調査及び「平成24年度 全国単位制高等学校長等連絡協議会資料」、学校のホームページ等をもとに作成。

\*1 □は1校のみに設置、■は複数校に設置されていることを示す。ただし、□定は定時制にあることを示す。

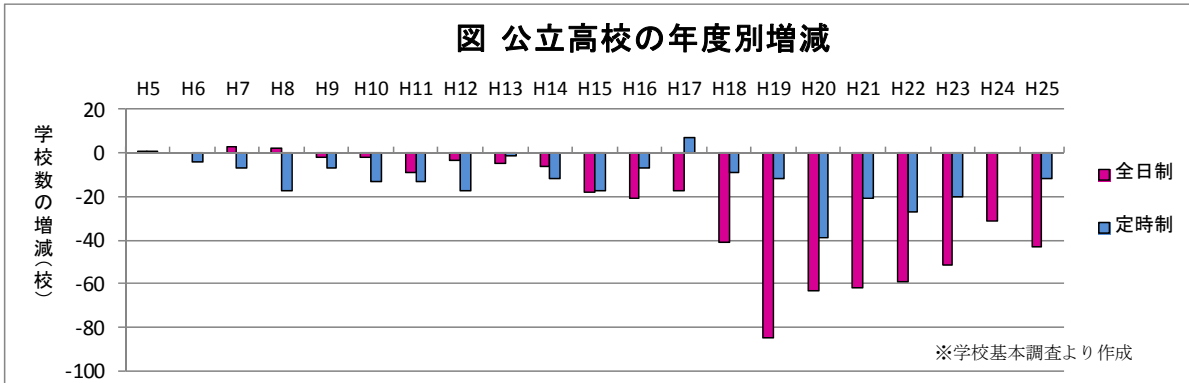
\*2 全日制課程の全学科数に占める割合。○は5%未満、◎は5~10%未満、◎は10~20%未満、●は20%以上を示す。0%の場合は記号なし。

\*3 全日制課程の公立高校に占める割合。○は5%未満、◎は5~10%未満、◎は10~20%未満、●は20%以上を示す。0%の場合は記号なし。

\*4 定時制課程の修業年限別の学校数を合わせた数に対する割合。◇は50%未満、◇は50~80%未満、◆は80~100%を示す。

\*5 多部制単位制に近い、全日制と定時制間の科目履修を可能とする学校が1校ある。

図 公立高校の年度別増減



## 高校教育改革の展開

- ① 都道府県によって新しいタイプの高校の整備には違い
  - 改革メニューを選択しながら都道府県に応じた改革を推進
- ② 時間経過に伴い、やり残した改革に着手する傾向
  - 全国に浸透する傾向
- ③ 再編整備は、平成10年代前半の審議会答申や計画が実施に移される段階、つまり10年代後半から大きく進展
- ④ 全国的にみれば、再編整備が遅れた県では新しいタイプの高校の整備をはじめ高校教育改革の進展は低調な傾向に

### (3) 高校教育改革の検証

表 高校教育改革・再編整備の検証事例

都道府県	公表年	検証結果掲載報告書及び概要
岩手	H21.9	第二次県立高等学校長期構想検討委員会「今後の県立高等学校のあり方について〔報告〕」 県立高等学校新整備計画（平成12～21年度）について、①再編整備を実施した学校、②新しいタイプの高校の拡大、③県立高校の配置と望ましい学校規模の確保等について検証した上で、今後の県立高校の在り方や各学科の方向性を示す。
宮城	H23.9	県立高等学校将来構想審議会「高校教育改革の成果等に関する検証 普通教育と専門教育の体制整備について(答申)」 平成22年4月の同審議会の「高校教育改革の成果に関する検証の在り方について」の答申を受けて検証を行い、今後の高校教育改革の推進に向けた提言ももっている。また、24年7月には、「男女共学化」及び「全県一学区化」の検証について、中間とりまとめをしている。
栃木	H22.2	県立高校再編計画推進会議「県立高校再編計画の推進に当たって 報告書」 前期実行計画（平成17～21年度）の進捗状況等(具体的には、①新しいタイプの高校の設置、②男女別学校の共学化、③学校統合)を検証し、後期実行計画のより一層の円滑な推進につなげている。
千葉	H21.12	千葉県教育委員会「県立高等学校再編計画前期分に係る評価（最終報告）」 有識者13名からなる評価委員会の助言等を受けて、教育委員会が自己評価を実施。この自己評価結果に、再編整備及び教育委員会の自己評価に対する評価委員会の評価を加えて報告している。
東京	H19.4	新しいタイプの高校における成果検討委員会「新しいタイプの高校における成果検討委員会報告書」 学識経験者、教育関係者、公立中学校長、教育庁関係者計16名で構成する検討委員会を設けて、新しいタイプの高校12校及び進学指導重点校やエンカレッジスクール等9校を対象に検証を実施し、教育委員会に報告している。3つの専門部会を設置。
神奈川	H22.8	今後の高校教育のあり方検討プロジェクト会議「県立高校改革推進計画10年間の成果と課題－これからの県立高校のあり方を考えるために－」 県立高校代表者1名を加えた9名からなる会議において、「多様な教育の提供」、「柔軟な学びのシステムの実現」等の施策展開の柱にそって検証している。検討部会を設置。なお、これをもとに同会議は、平成23年3月の「これからの県立高校のあり方」(最終報告)を作成している。

注) 各都道府県教育委員会の公表資料（平成25年12月現在）より作成

表 岩手県における高校教育改革の検証の概要

検証組織	第二次県立高等学校長期構想検討委員会(委員21名)
目的等	今後の高校のあり方を検討するために現行計画を検証
対象	県立高等学校新整備計画(平成12～21年度)
検証結果報告	「今後の県立高校のあり方について」〔報告〕平成21年9月 II 現行計画の検証・評価(6～17頁)
検証対象	①再編整備を実施した高校 ②新しいタイプの高校の拡大 ③県立高校の配置と望ましい学校規模の確保 ④その他
検証方法や主な検証資料	①学校の基礎資料(入学者選抜結果、卒業後の進路等) ②再編整備をした学校への調査(特色ある取組の現状と成果・課題、学校評価を含む) ③生徒・保護者のアンケート調査 ④教員アンケート調査
総括	・新しいタイプの高校への再編で生徒の選択肢が広がりがり学習意欲が向上した。また、統合で望ましい規模の学校になることにより学習環境の充実や学校の活性化が図られ、一定の成果があった。 ・高校ごとに様々な課題も存在する。課題を検証しながら学校運営や教育内容の充実を図る必要がある。 ・今後の更なる生徒減少に対応するために、本県の高校教育の在り方について十分議論を尽くしながら、高校の再編について検討を進める必要がある。

※検証結果報告欄に示す報告をもとに作成

### 高校教育改革の成果と課題

#### <成果>

- ① 高校教育の多様化・個性化の実現……生徒の学校選択幅の拡大、科目選択の拡大や少人数学習等により自らにあった学習が可能に

#### <課題>

- ① 多様化・個性化した仕組みをうまく生かせない生徒の存在
- ② 社会や生徒の変化により一層きめ細やかに生徒に対応する必要性
- ③ 多様化・個性化を継続・充実するための人的・物的条件整備

### 3. 今後の高校教育政策の課題

#### ① 高校教育政策の検証と視点

高校教育の質の保証、授業改善、さらなる多様なニーズにどう応えるか、厳しい財政、財政投入に見合った成果、メリハリのある政策

#### ② 今後の生徒減少への対応

再編整備、高校教育機会の保障、小規模校の活性化、小中高一貫教育、地域政策の一環として検討

#### ③ 保護者や地域住民等との連携協力の拡大

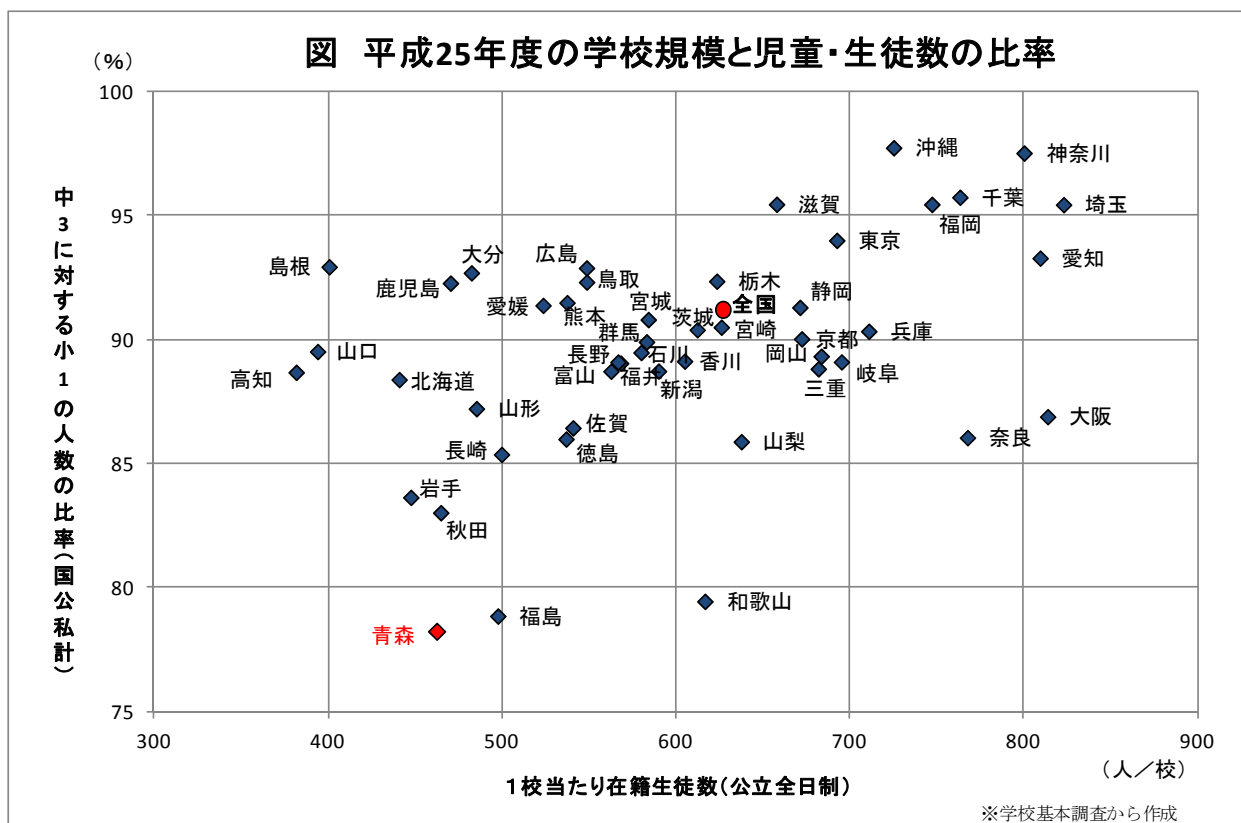
学校評議員制度、学校関係者評価、コミュニティ・スクール、市町村・事業所・保護者・地域住民等からの学校支援

#### ④ グローバル化に向けた人材育成

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)、スーパーグローバルハイスクール(SGH)、スーパープロフェッショナルハイスクール(SPH)、国際バカロレア

#### ⑤ 高等学校における特別支援教育等の充実

インクルーシブ教育システムの構築、外国につながる生徒への対応、学び直しへの対応





## 4. 小規模校活性化への示唆

### (a) 施設一体型中高一貫教育

高知県立嶺北高校、静岡県立佐久間高校、長崎県立大崎高校

### (b) 施設一体型中高連携校

秋田県立矢島高校(市立矢島中学校と県立高校、一体型の職員室)

### (c) 小中高一貫教育(中高一貫教育の発展型)

山形県立小国高校、長崎県立北松西高校、宇久高校、奈留高校

### (d) コミュニティ・スクール

千葉県立多古高校、長狭高校、三重県立紀南高校、高知県立大方高校

### (e) 全国からの生徒募集

島根県立隠岐島前高校(島留学制度:海士町からの支援)、長崎県離島留学制度(五島高校スポーツコース、壱岐高校東アジア歴史・中国語コース、対馬高校国際文化交流コース)

### (e) 市立移管による特色づくり

道立三笠高校→三笠市立…普通科→食物調理科1学級(調理師コース・製菓コース)

### (f) 地元市町村からの学校・生徒支援

学力向上、環境整備、スクールバス運行、通学費、部活等の費用補助など

(b) 秋田県立矢島高校



(a) 高知県立嶺北高校 (同居型連携中高一貫教育校)



### (c) 山形県立小国高校の小中高一貫教育

(研究開発H13～、連携型中高一貫教育はH10～)

他校への授業参観、中高交流授業、小中・中高の交流学习、国際理解・情報教育を全学年で実施→高で米国修学旅行、小から高まで地域学習(発表会実施)→連携型入試の資料、小中高合同集会、あいさつ運動、ボランティア活動、合同部活

### (d) <コミュニティ・スクール…保護者や地域住民の学校運営へ参画>

学校運営協議会の役割・権限

- ①校長が作成する学校運営の基本的な方針について承認を行う
- ②学校の運営について教育委員会や校長に意見を述べるができる
- ③教職員の任用に関して任命権者である教育委員会に対して意見を述べるができる → 地域をあげた学校づくり、まちづくりにつながる